



平成 27 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ファルコホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 平崎 健治郎  
(コード番号：4671 東証第一部)  
問合せ先 取締役戦略業務室長 安田 忠史  
(TEL. 075-257-8585)

### 特別利益及び特別損失の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の連結決算において特別利益及び特別損失を計上するとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 2 月 10 日に公表した平成 27 年 3 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 特別利益の計上について

資産効率の向上及び財務体質の強化を図るため、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、平成 27 年 3 月期の連結決算において、投資有価証券売却益 341 百万円（第 3 四半期累計：254 百万円、第 4 四半期：87 百万円）を特別利益として計上いたします。また、臨床検査事業の営業所及び検査室の移転等に伴い発生した固定資産売却益 98 百万円（第 3 四半期累計：33 百万円、第 4 四半期：65 百万円）を特別利益として計上いたします。

##### 2. 特別損失の計上について

平成 27 年 3 月期の連結決算において、臨床検査事業における営業所及び検査室の移転により処分予定の不動産や営業活動から生ずる損益が継続してマイナスの薬局店舗等につきまして、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 260 百万円（第 3 四半期累計：245 百万円、第 4 四半期：15 百万円）を特別損失として計上いたします。また、臨床検査事業の営業所及び検査室の移転等に伴い発生した固定資産売却損 67 百万円（第 3 四半期累計：2 百万円、第 4 四半期：65 百万円）、事務所移転費用 47 百万円（第 3 四半期累計：28 百万円、第 4 四半期：19 百万円）を特別損失として計上いたします。

##### 3. 業績予想の修正

(1) 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	47,000	1,400	1,500	700	62円00銭
今回修正予想 (B)	46,500	1,600	1,800	1,100	97円40銭
増減額 (B - A)	△500	200	300	400	
増減率 (%)	△1.1	14.3	20.0	57.1	
(参考) 前期連結実績 (平成26年3月期)	58,401	1,117	1,118	2,278	189円11銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、臨床検査事業の売上の減少により、前回予想を下回る見込みとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、試薬効率の改善や固定費の節減等により前回発表時点で想定していたよりも臨床検査事業における原価の増加を抑制できたこと、処方箋枚数の増加及び仕入コストの削減等により調剤薬局事業の利益が改善したことにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、上記の要因に加え、第4四半期における金融商品の処分による投資有価証券売却益の発生（87百万円）等により、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上